



ときめくエコデビュー

平成27年度(2015年度)
おきがる環境講座
報告書



平成28年3月4日

特定営利活動法人えどがわエコセンター

実施団体 イノシシ倶楽部

平成27年度（2015年度）
おきがる環境講座
報告書

目次

- 1.はじめに
 - 2.おきがる環境講座概要
 - 3.活動報告
-

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

知って・学んで・実践！ 広がる！ 環境学習の輪

「おきがる環境講座」運営責任者
特定非営利活動法人えどがわエコセンター
副理事長 大和地 弘一

12年目を迎えた本講座は、地域やエコセンターで活動するための知識と必要なノウハウを基礎から段階的に学べる講座として、14講座（オープニング講演会、基礎6講座、ステップアップ3講座、リーダー・仲間づくり1講座、小中学生3講座、）を開催した。参加者数は、421名で昨年度（449名/14講座）に対し6%程度減少した。今後とも継続して魅力的なプログラム開発や広報活動に努めていきたい。

リーダー・仲間づくり講座は、今年で15回目を迎えたが、毎年応募人数が減少し募集に苦労してきたが、講座中止は本講座開始以来初めてであり残念であった。今後、プログラム名称、内容や募集方法が課題となる。

次代を担う小中学生への出前講座は、プログラムを充実したこともあり昨年同様の参加を得ることができた。

企画・運営面では、イノシシ倶楽部による運営は、組織的な体制が定着し推進することができた。講座開催に際しご協力頂いたパートナーシップ事業者等、イノシシ倶楽部やエコセンター事務局の方々のご尽力に感謝申し上げます。

（I）プログラム

- ・オープニング講演会は、（独法人）海洋研究開発機構の川上講師を迎え、地球温暖化が海洋に与える影響、また海洋が気候変動へ与える影響をテーマに講演会を開催した。
- ・親子参加の講座は3回開催。首都圏外郭放水路見学会は好評であった。
- ・日本の農業問題とエネルギー問題の両方を解決する糸口となるソーラーシェアリング（太陽光を発電と農作物でシェアする）見学会を初めて開催できた。

（II）パートナーシップ等

企業は景気の動向に左右されCSR活動は低調で花王（株）のみであった。

新たに、アプローチした（独法人）海洋研究開発機構、日本ソーラーシェアリング協会の協力を得ることができた。

（III）人材育成

リーダー・仲間づくり講座は4名の応募があったが、全過程を受講できる人が1名となったため、講座は中止とし、商店街イベントへの参加を行った。なお、講座修了生1名がエコ活動団体に入会、今後の活動に期待したい。

（IV）受講者数

目標300名に対し421名と達成できた。但し、昨年度と比較した中身を見ると座学講座と見学会も同程度の落ち込みであった。小中学生講座で203名と全体の48%を占め昨年と同等であった。

平成27年度（2015年度）おさがる環境講座 概要

おさがる環境講座は、オープニング講演会、基礎からステップアップしてリーダー仲間づくり講座へと無理なく段階的に学べ、好きな講座を選択できることを特徴としています。もう一つは、次代を担う子ども達への環境教育として出前講座を開催しています。



オープニング講演会 環境問題を考える入口として

地球温暖化の原因や現象を知るとともに、地球温暖化が海洋に与える影響、また海洋が気候変動へ与える影響について学びます。

「気候変動に対する海洋の応答」～海洋から地球の未来を考えてみる～

■講師：川上 創（独立法人）海洋研究開発機構・環境科学博士



基礎編 環境について学びたい方へ（6講座）

これから環境について学びたい方へ。

エコセンターや区が取り組んでいる活動や事業、講演会、体験教室やバス見学会などに参加しましょう。

- 第1回 夏休み親子で首都圏外郭放水路等を学ぶ ～夏休み親子で水と防災、企業のエコ活動を学びます～
- 第2回 異常気象による水・食糧問題を学ぶ ～深刻化する異常気象や心配される水と食糧について考える～
- 第3回 親子で原っぱのいきものをさがそう探検隊 ～都市部の限られた環境の中での生物や植物の観察会～
- 第4回 花王すみだ事業所見学会 ～清浄文化史や花王のモノづくり・エコへのとりくみについて学びます～
- 第5回 ソーラーパネル発電と農業のコラボ ～農地で農作物を栽培しながら発電を行う施設見学会～
- 第6回 環境問題の今 ～江戸川総合人生大学・北野学長の授業に聴講生として受講します～



ステップアップ講座 行動したい方への第一歩（3講座）

環境問題に興味を持ってこれから行動したい方へ。 イベントに参加したり、見たり、聞いたり、体験しながら積極的な関わりへと「ステップアップ」します。

- 第1回 親子で都市型菜園を体験しよう～植物が彩る館内で食べられる植物の香りや意外な特性・パワーを体感します～
- 第2回 冬のエコ家計ダイエット ～家庭のライフスタイルにマッチした冬の省エネアドバイスが受けられます～
- 第3回 買い物袋の一生(商品の一生を考える) ～日常のお買い物でCO2の排出に繋がっていることを学びます～



リーダー・仲間づくり講座 レッツ・エコデビュー（連続4回講座）

環境活動への思いを実現させたい方、参加者同士の仲間づくりの幅を広げたい方へ、活動するための実践ノウハウを学びます。

- 第1回 地球環境と異常気象・エコセンター紹介・コミュニケーションのイロハ
- 第2回 エコについてグループで話し合おう&発表
- 第3回 活動している人たちとの話し合い&修了式と先輩との交流会
- 第4回 エコ活動イベントへの参加・体験



小中学生講座 「子どもたちに環境教育として出前講座をします」

ESD（Education for Sustainable Development）持続可能な社会の基盤となる教育を視野に小中学生を対象にした出前授業です。総合学習の一環として学校単位に実施いたします。

- 第1回 小学生への出前事業（1）知ろう、学ぼう、考えよう 地球の環境問題って何だろう？
（2）リサイクルを学ぼう ～クイズやエコ工作などを利用して学ぶ～
- 第2回 中学生への出前授業 地球温暖化と私達の生活



① オープニング講演会 「気候変動に対する海洋からの応答」
～海洋から地球の未来を考えてみる～

講師	川上 創（独立法人 海洋開発研究機構・環境科学博士）
概要	地球温暖化の原因や現象を知るとともに、地球温暖化が海洋に与える影響、また海洋が気候変動へ与える影響について学びます。
会場	タワーホール船堀・研修室
対象者	一般
日時	平成27年7月18日（土）14：00～16：00
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

社会問題となっている地球温暖化の原因や現状を紹介するとともに、後半では環境科学者の目でデータに基づいて地球温暖化が海洋に与える影響について、また海洋の生態系への影響について講演され興味深かった。講演の前半は地球温暖化について聞きなれた話が多かったので、後半は海洋に特化した地球温暖化の海洋への影響や海洋からの地球環境への応答について講演が欲しかった。





②基礎講座（第1回） 夏休み親子で首都圏外郭放水路等を学ぶ
～夏休み親子で水と防災、企業のエコ活動を学びます～

バス見学会

講師	首都圏外郭放水路・明治みるく館の見学会
概要	「地下神殿」とも呼ばれる巨大な調圧層を見学、東京を洪水から守るため建設された世界最大級の洪水防災施設を見学し、私たちが暮らす海拔ゼロメートル地帯の江戸川区の複合災害対策を学ぶ。そして企業のエコへの取組を学ぶ。
会場	首都圏外郭放水路（春日部市）、明治みるく館（守谷市）
対象者	親子
日時	平成27年8月10日（月）8:30～17:30
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

親子参加の企画で40人の募集に対し、おきがる環境講座全体の広報募集ですぐに締切りとなるほどの人気だった。首都・東京の安全を支える防災対策として、あふれそうになった中小河川の洪水を地下に取り込み、地下50メートルを貫く総延長6.3キロメートルのトンネルを通して江戸川に流す世界に誇る施設を見学し、海拔ゼロメートル地帯に暮らす江戸川区民にとって親子ともに防災に対する意識向上につなげることができたと思う。明治みるく館では少人数で効率的な大量生産の工程や衛生管理の徹底を見学できたが、環境対策への説明が少なかったのが残念であった。





③基礎講座（第2回） 異常気象による水・食糧問題を学ぶ

～深刻化する異常気象や心配される水と食糧について考える～

講師	村山貴司（気象予報士・（財）気象業務支援センター・専任主任技師）
概要	深刻化する異常気象による猛暑や局地的な豪雨で甚大な災害が起きている。本講座では気象予報士から見た地球温暖化と異常気象の現状と将来を知り、異常気象により将来起こってくると予想される水と食糧について考える。
会場	タワーホール船堀・307会議室
対象者	一般
日時	平成27年9月15日（火）18:30～20:00
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

講座直前に発生した集中豪雨による鬼怒川の決壊の話があり、臨場感をもって防災の備えの大切さを痛感した。また異常気象により引き起こされる洪水や水不足が、日本、世界の食糧生産に異常をきたし、食糧不足が近い将来現実のものになるかもしれないという危機感を、身近な例を挙げて説明されたので、深い印象を与えることができた。これを機会に積極的な温暖化防止行動に参加してほしい。参加者から、こんな良い講座なのに参加が少なかったのが非常に残念であったとの声が聞かれた。継続して広報等での募集方法の検討を進めていきたい。





④基礎講座（第3回）親子で原っぱの生きものをさがそう探検隊 ～都市部の限られた環境の中に生きている生物や植物観察会～

講師	高木嘉雄（江戸川区子ども未来館 自然観察指導員）
概要	都市部の限られた環境の中に生きている生きものの、形を見たり、触ったりすることで、その生態にどのように関係しているかを学ぶ。また、生物や植物を楽しみながら観察することで自然の中にある色々な世界が覗けます。
会場	小松川第二小学校跡地
対象者	親子
日時	平成27年9月19日（土）13：00～14：30
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

昨年に引き続きこども未来館から自然観察指導員の高木さんと蜻蛉学会会員の斉藤さんを迎え自然観察会を実施した。数日前の雨で、観察会のフィールドはぬかるみ状態であったが、事前に連絡をしたことで、長靴等の準備万端で、親子で生きものを捕まえて観察をし、専門家の話を聞き、楽しく学ぶことができた。4連休の前日に設定した事もあり昨年の3割と少ない参加者であった。次年度は、開催日の検討が必要である。子ども未来館との協働を継続的に進めて行くことも必要であるが、エコセンター内部から講師も考えて行きたい。





⑤基礎講座（第4回）花王すみだ事業所見学会

現地集合

～清浄文化史や花王のものづくり・エコへの取組について学びます～

講師	花王すみだ事業所見学会
概要	豊かな生活文化を実現するために、より“環境負荷の少ない製品”を、より“環境負荷の少ない方法”で作り出す取組や清浄文化の歴史について学びます
会場	花王（株）すみだ事業所
対象者	一般
日時	平成27年9月25日（金）9:30～12:00
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

平成25年度にスタートした花王（株）との連携事業は、3年目を迎えることができた。現地集合も定着し、女性を中心に根強い人気がある見学会で清浄文化や花王の歴史、コミュニケーションプラザの3つの展示ゾーンと化粧品工場ではソフィーナの製造ラインを見学。完全自動化された製造工程や環境を考慮した製品作りに感心した。肌や髪の状態を測定したりして、私たちの日常生活の中で使用している製品の製造と歴史を見学でき大変有意義だった。

また、昨年度は、亀戸駅から徒歩15分の距離で、お年寄りや足の悪い方には負担があったので、今年は負担になる人はバスで行くことができることしたので好評であった。



⑥基礎講座（第5回）ソーラーシェアリング発電と農業コラボ
～農地で農作物を栽培しながら発電を行う施設見学会～

バス見学会

講師	伊藤 尊司（イノシシ倶楽部）、渋谷、山本（日本ソーラーシェアリング協会）
概要	日本の農業問題とエネルギー問題の両方を解決する糸口となる画期的なソーラーシェアリング（太陽光を発電と農作物でシェアする）と廃棄物焼却の排熱エネルギーを活用した植物工場を見学
会場	市原市 ユニバーサル企業(株)、ソーラーシェアリング上総鶴舞(株)市原ニューエナジー
対象者	一般
日時	平成27年10月17日（土）8：30～17：30
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

ソーラー発電と農業のコラボにより、衰退する農業の活性化を図る事と儲かる農業に取り組むことで、後継者を育成する新たな農業の展開が図れる考え方は、参加者から肯定的な意見が多数寄せられた。また多くの参加者から環境との融合を見据えた農業の将来を予想する構図も見えてきたとの意見も寄せられた。市原ニューエナジーでは、産廃を処理する焼却炉の排熱を利用した発電と更に熱の回収によって、温水を作りその熱で茗荷の栽培を行うシステムを見学し、新たな視点でのエコと農業のコラボの一面を垣間見ることができた。





⑦基礎講座（第6回） 環境問題の今

～江戸川総合人生大学・北野学長の授業に聴講生として受講します～

講師	北野 大（江戸川総合人生大学学長）
概要	H21年度からの江戸川総合人生大学とのパートナーシップ事業は7年目を迎え、今年度も北野学長のわかりやすくユーモアを交えた講座を聴講生として受講する。「地球環境の今」をテーマに、過去から現在に至る地球環境問題を知り、地球環境問題の現状に気づくと共に今後の地球環境を考える。
会場	篠崎文化プラザ・講義室
対象者	一般
日時	平成27年11月12日（木）10:00～12:00
主催	江戸川総合人生大学
後援	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

参加者は、地球温暖化に対する理解度が受講前から高い方が多く今後の行動に期待できる。講義内容もユーモアに富み受講者の感想も大変有意義な講座で来年も総合人生大学との連携を続けて行く必要性を感じたが、平成21年から毎年聴講生として参加しているが年々減少傾向にある。連携事業を継続して進めて行くことも必要であるが、他の講師も検討して行く必要がある。





⑧ステップアップ講座（第1回） 親子で都市型菜園を体験しよう

現地集合

～植物が彩る館内で食べられる植物の香りや意外な特性・パワーを体験します～

講師	パソナアーバンファーム
概要	「自然との共生」をテーマに開設されたパソナグループの総合拠点「アーバンファーム」を見学する。天井や壁面に野菜や果実が実り、200種以上の植物が彩る館内で先進農業に触れながら、食べられる植物の香りや意外な特性・パワーを体験する。
会場	パソナアーバンファーム（JR東京駅八重洲口徒歩5分）
対象者	親子
日時	平成27年8月21日（金）10:30～12:00
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

ビルの壁面や屋上に四季折々の植物が育成されており、オフィス内では野菜、植物のいろんな栽培環境を見学することができ、自然を取り入れたオフィス環境に新鮮さを覚えた。1Fのロビーでは稲が実り、参加者は大変興味深く見学していたようだ。ワークショップでは、ハーブの歴史、効能を知り、触って香りを体験することができ、参加親子共々興味深く、都会の新しい自然の取り入れ方や植物の効能など学習してもらうことができた。





⑨ステップアップ講座（第2回） 冬のエコ家計ダイエット

～家庭のライフスタイルにマッチした冬の省エネアドバイスが受けられます～

講師	大庭みゆき （株）環境エネルギー総合研究所・代表取締役・工学博士
概要	家庭のエネルギー消費は、季節、家電機器、住宅性能、家族の成長（ライフサイクル）によってエネルギーの使い方が変化します。今回は冬の省エネについて、ノウハウやアドバイスを受けることができます。
会場	タワーホール船堀・産業振興センター（3F）
対象者	一般
日時	平成27年10月24日（土）13:30～15:30
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

平成22年度にスタートした“省エネ講座”は、6年目を迎え今年度の参加者は減少したが、参加者の声を聞くと内容、進め方は良いとの意見であった。地球温暖化対策として「省エネ」講座は大切であるが区民の中では定着している感もある。更に興味を引く視点をかえた講座を企画する必要がある。おきがる環境講座以外でもエコセンターとして「省エネ」の普及啓発に対する新たな企画が必要と思われる。





⑩ステップアップ講座（第3回）買い物袋の一生(商品の一生を考える)
～日常のお買い物がCO₂の排出に繋がっていることを学びます～

講師	水野 建樹（社）未踏科学技術協会・研究主幹・工学博士
概要	地球温暖化の主な原因である二酸化炭素（CO ₂ ）は、誰もが使うモノの一生（ライフサイクル）を通して排出されている。CO ₂ は、電気やガソリンを使うときのエネルギー消費で出るだけでなく、どんなモノでも、ゆりかご（材料調達・製造・流通）から墓場（廃棄・リサイクル）までのライフサイクルにおいて、CO ₂ を排出している。本講座では、モノの一生の見えないところの環境影響を再認識し、環境に配慮した消費行動につなげることを学ぶ。
会場	タワーホール船堀・産業振興センター
対象者	一般
日時	平成27年11月7日（土）13:30～15:30
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

講座では、前半は地球温暖化の状況、原因などクイズを出しながら参加者にわかりやすく進められ、後半は環境カードゲームをしながら、一つの商品が原材料調達から生産、廃棄されるまでのCO₂の発生量を学ぶことができた。後半のカードゲームの理解に時間がかかり時間が足りなくなり、一部講座内容を消化できなかったことが反省される。





⑪リーダー仲間づくり講座 レッツ・エコデビュー（第1～4回）

講師	大和地弘一（環境カウンセラー）、水上泰輔（環境カウンセラー）
概要	<p>環境問題への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたい方へ、活動するための実践ノウハウを学びます。</p> <p>第1日目：地球温暖化と異常気象、エコセンター紹介、コミュニケーションのいろハ 第2日目：エコについてグループで話し合おう&発表 第3日目：活動している人たちとの話し合い&修了式・先輩との交流会 第4回目：エコ活動イベントへの参加・体験（MOS）</p>
会場	タワーホール船堀・301会議室、産業振興センター、MOS
対象者	一般
日時	<p>第1回：中止 第2回：中止 第3回：中止 第4回：平成27年11月30日（日）AM10:00～15:00</p>
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

H13年度から毎年開催しているリーダー講座は、今年度は15回を迎え4名の応募があったが、実質第1回からの参加は1名となったため、第1回、第2回、第3回の講座を中止し、3名の応募者には第4回のエコ活動イベント（松江大通り商店街 [MOS] 3りんしゃグランプリ）に参加し、イベントの準備から運営までを体験して頂いた。毎年応募人数が減少し募集に苦労してきたが、講座中止は本講座開始以来初めてであり残念であった。今後の募集方法が課題となる。



⑫小中学生講座 小学生への出前授業（１）

～知ろう、学ぼう、考えよう 地球の環境問題って何だろう？～

講 師	大和地弘一（環境カウンセラー）
概 要	映像・画像・クイズや体験を交えながら地球温暖化の仕組みや問題点について知り、温暖化防止のために自分たちの日常や学校生活の中で生じた関心や疑問を考え身近なことから行動を起こす動機づけをします。
会 場	江戸川区立・瑞江小学校・プレイルーム
対象者	瑞江小学校5年生（61名）
日 時	平成28年2月4日（木）10：40～12：15
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

前半の地球温暖化に対する理解度は、PP、DVD、クイズで、温暖化の仕組み⇒原因⇒影響と進め、理解を得る事が出来た。後半の体験学習では、風力発電やエネルギーのかばんを使用しCO₂の量を重さで感じてもらった。さらに新たに加えた太陽光発電は、蓄電式太陽光発電装置とパネルを使用しその電気を使い掃除機、風車を動かしたりして新エネルギーを理解してもらった。ただ、パネルの説明が中心だったのが残念であった。企業会員（東京電力・江東支社や（株）大三洋行）から風力発電装置&パネル、太陽光発電装置パネルを借用したことで、企業のアドバイスやノウハウも吸収することができ連携・協働の必要性を感じた。





⑬小中学生講座 小学生への出前授業（２）

リサイクルを学ぼう ～クイズやエコ工作などを利用して学ぶ～

講師	大和地弘一（環境カウンセラー）
概要	子どもたちに、クイズや使わなくなったCD・ペットボトルを使ってCDコマを作ることを通して、ものを大切にすること、リサイクル、ごみ減量について気づきを与えます。
会場	江戸川区立・瑞江小学校・教室
対象者	瑞江小学校特別支援学級（24名）
日時	平成28年2月24日（水）10：40～12：15
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

前半は“クイズ”でリサイクル、ごみ減量、節水の質問に興味を持ち積極的に手を挙げて答えてもらうことができた。後半のCDコマづくりは、作り方の説明もきちんと聞いて工作作りに取り組んでいた。CDに描いた絵は、自分のオリジナリティがあり感心した。CDコマで使うペットボトルのリサイクル製品の現物を見せリサイクルすることでネクタイ、定規、洋服等生まれ変わることができることに気づいてもらいリサイクルの大切さを学んでもらった。瑞江小は、昨年度に引き続き2回目の授業であつが、子ども達の興味を持つクイズやエコ工作を通しリサイクルを分かりやすく伝えることができた。





⑭小中学生講座 中学生への出前授業

～温暖化と私たちの生活～

講師	水野 建樹（社）未踏科学技術協会・研究主幹・工学博士
概要	化石燃料による二酸化炭素（CO ₂ ）が原因で地球温暖化が進んでいることをきちんと知る。普段の日常生活で、目に見えないところでも二酸化炭素が出ていることに気づきを与える。温暖化に対して日常で何ができるか、ライフスタイルについて考えさせるきっかけとする。
会場	江戸川区立・上一色中学校・剣道室
対象者	上一色中学校1年生（118名）
日時	平成28年1月29日（金）13：35～15：25
主催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

昨年度（瑞江第二中学校）に引き続き‘ライフサイクル思考に基づく環境教育’を取り入れ「温暖化と私達の生活」を実施することができた。授業内容は、地球温暖化が進んでいる（IPCC動画）、グループ対抗「クイズで考えるCO₂」、WS「洗濯とタオル」や「温暖カードゲーム」で“ものの一生とCO₂”を学び①化石燃料による二酸化炭素（CO₂）が原因で地球温暖化が進んでいること②普段の日常生活で、目に見えないところでも二酸化炭素が出ていることに気づきを与えることができた。今後も継続して、温暖化に対して日常で何ができるか、ライフスタイルについて考えさせるきっかけとなる授業支援をしていきたい。



H27年度「おきがる環境講座」受講者数

NO.	区分	講座名	受講者数
1	オーブンニング講演会	「気候変動に対する海洋の応答」 ～海洋から地球の未来を考えてみる～	43
2	基礎講座	第1回 夏休み親子で首都圏外郭放水路等を学ぶ	41
3		第2回 異常気象による水・食糧問題を学ぶ	24
4		第3回 親子で原っぱの生きものをさがそう探検隊	6
5		第4回 花王すみだ事業所見学会	28
6		第5回 ソラーシェアリング発電と農業コラボ	24
7		第6回 環境問題の今	9
8	ステップアップ講座	第1回 親子で都市型菜園を体験しよう	7
9		第2回 冬のエコ家計ダイエット	11
10		第3回 買い物袋の一生（商品の一生を考える）	22
11	リーダー仲間づくり講座	第1回 地球環境と異常気象・エコセンター紹介・コミュニケーションのいろは	—
		第2回 エコについてグループで話し合おう&発表	
		第3回 活動している人たちとの話し合い&修了式と先輩との交流会	
		第4回 エコ活動イベントへの参加・体験（松江大通り商店街3りんしゃグランプリ）	3
12	小中学生講座	小学生への出前授業（小学5年生） 知ろう、学ぼう、考えよう 地球の環境問題って何だろう？	61
13		小学生への出前授業（特別支援学級） リサイクルについて学ぶ	24
14		中学生への出前授業（中学1年生） 温暖化と私たちの生活	118
計			421



発行：特定非営利活動法人えどがわエコセンター

編集&運営団体：イノシシ倶楽部

〒134-0091 江戸川区 船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階

TEL：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677

Eメール：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

ホームページ：http://www.edogawa-ecocenter.jp/
